**DISVCOVER OSAKI　おらほのニュース発信します！**

**「～『ささ結』生誕10周年～新米まつり2024」が開催されました**

10月13日に道の駅おおさきで「～『ささ結』生誕10周年～新米まつり2024」が開催され、新米『ささ結』の販売を開始しました。

会場では、『ささ結』のほか、仙台牛や伝統野菜「」などの秋野菜が販売されました。開会前から長蛇の列ができ、10年目の実りの秋を迎えた『ささ結』を買い求める来場者でにぎわいました。特別抽選企画では、『ささ結』生誕10周年記念グッズや関連商品などがプレゼントされました。

また、「 」によるジャズライブでは、『ささ結』のイメージソング「 !『ささ結』」を含む多数の楽曲が披露されました。

秋晴れの下、ジャズの演奏を楽しみながら、「大崎耕土」の収穫を喜ぶ祭りとなりました。

写真：新米『ささ結』を買い求める来場者

**おおさき古川秋まつりが開催されました**

10月20日、古川地域中心市街地で、「おおさき古川秋まつり」が晴天のもと開催されました。

商店街の通りでは、「稲葉先陣大名行列」が練り歩き、江戸の風情を感じさせる歴史絵巻さながらの迫力で、見物客を魅了しました。

JR古川駅前やリオーネふるかわ駐車場で開催された「はたらくくるま大集合」では、多くの親子が乗車体験などを楽しみました。

市役所本庁舎駐車場と本庁舎1階市民交流エリア屋内広場（パタ崎さん）で開催された「おおさき元氣祭」では、会場が熱気に包まれ、飲食ブースでは、秋の味覚やパン、スイーツなどの店に多くの列ができました。

また、今回初めて、大崎市のブランド米『ささ結』を使用したおにぎりのグランプリを決める「グランプリ」が開催され、10店舗のエントリーから見事、古川地域の「炉ばた焼せのび」の創作おにぎりが初代チャンピオンに輝きました。会場内では、おいしいおにぎりをほおばる姿が多く見られました。

写真：『ささ結』のおにぎりでおいしさを競いました

**道でつなぐ・東北どまんなかサミット2024～日本海と太平洋をつなぐ～in新庄市**

10月20日、山形県新庄市エコロジーガーデンを会場に「道でつなぐ・東北どまんなかサミット2024 ～日本海と太平洋をつなぐ～in新庄市」が開催されました。このサミットは、県境を超えた7自治体(大崎市、秋田県由利本荘市・湯沢市、山形県・・新庄市・最上町)が日本海から太平洋までをつなぐ縦軸・横軸の道路網ネットワークによる「人・もの・こころ」の交流を目的として開催されています。当日は、東北地方整備局道路部長の木村 康博 氏による基調講演のほか、構成自治体の首長による意見交換が行われ、今後期待される連携のあり方などについて意見が交わされました。

また、各自治体の特産品を販売するコーナーが設けられ、物産展を通した交流も行われました。

今後も、連携のあり方を模索し、道路整備の促進、産業や観光の交流に取り組んでいきます。

写真：「東北のみちづくりと広がる可能性」と題し講演した木村 康博 氏